

# 広島呉道路 災害復旧に関する検討委員会

## 第2回検討委員会の結果概要

### 1. 被災の主な原因

- 高速道路区域外で発生した土石流が道路区域内（盛土ポケット）に流入した。
- この土石流による大量の流木と土砂が、道路盛土内の横断排水管（コルゲートパイプ）呑口を閉塞。
- 盛土ポケットの排水機能が絶たれた結果、路面及び盛土内に雨水が流入・浸透・滞水し続けた。
- その結果、盛土法面が浸食されるとともに、盛土内水位が上昇し、不安定となり崩壊に至った。

### 2. 復旧方針

#### <道路構造>

- 現状の盛土構造を再構築する。
- 盛土法尻に鋼製ふとんかごを、盛土内に地下排水溝を増やすなど、盛土の排水機能を向上させる。

#### <土砂流入対策>

- 土石流が発生した沢部に土石流に対する防護対策を実施する。
- 横断排水管が閉塞しないよう、呑口に閉塞軽減工を設置する等の対策を講じる。

### 3. 復旧見込

- 崩壊土砂（約 13,000 m<sup>3</sup>）の撤去後、盛土を復旧し、道路を再構築する（24時間施工）。
- 11月の復旧を目標とする。